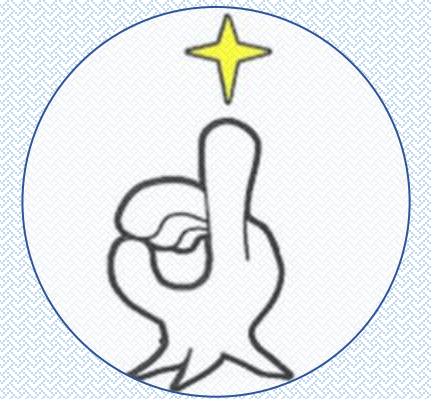


要望書

全日本ろう学生懇談会



1. きこえない学生の「聴く権利・学ぶ権利」を保障するための制度をすべての高等教育機関に設置し、開かれた高等教育を聞こえない学生にも提供して下さい。



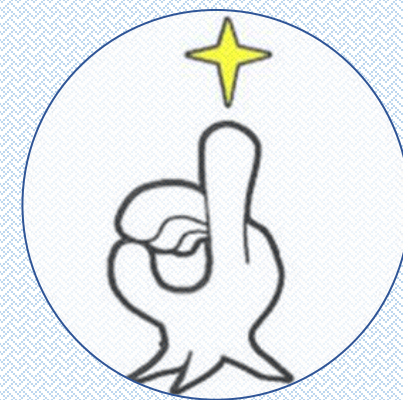
近年障害者を取り巻く環境や社会状況は大きく変化。

→大学における**情報保障**の整備、拡充

→平成28年4月より**障害者差別解消法**の施行

→各機関における**合理的な配慮**

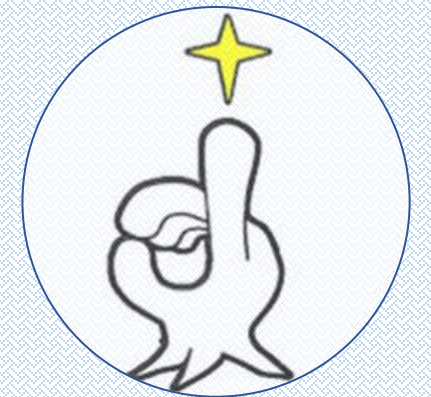
の法的・努力義務化



1-1. 対面授業での現状

- ・各教育機関によって合理的配慮を行うための整備状況の差が大きい
- ・講義型の授業の情報保障…付けやすい
ゼミや実験科目などの演習型の授業の情報保障…付きにくい

以上のようなケースが多く存在。



全ての教育機関に対して

- ・合理的配慮の法的義務化
- ・財政的・人材的措置の検討



1-2. オンライン授業での現状

・音声情報の獲得が困難

→対面時では情報保障が不要な学生も視覚的な情報保障が必要になった。

・オンライン授業時の情報保障の支援の格差

→配慮の実施は各教育機関に委ねられているため各機関の理解や整備状況によって格差が生じる。

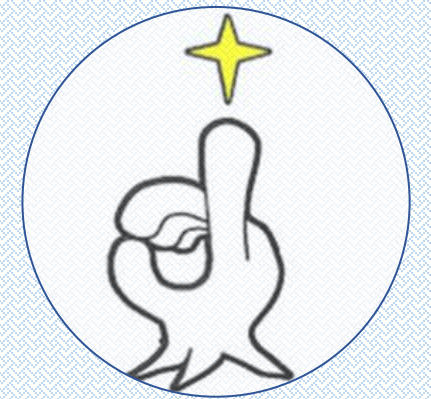


全ての教育機関に対して

視覚的な情報保障に関する一律の配慮の実施の要望



2.きこえない学生の支援に関わる
ネットワークの拡充を図り、大学・専門学校
における支援の格差の是正に向けた
取り組みを行ってください。

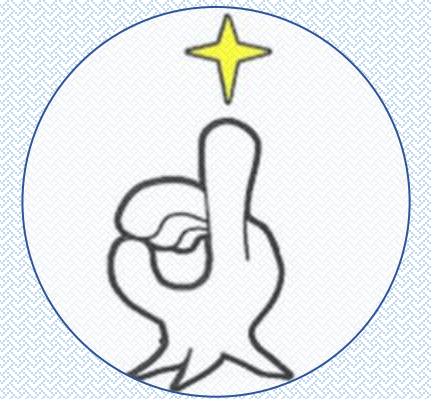


全国の大学、専門学校のきこえない学生の支援に関わるネットワークの拡充により、支援の状況や実態の迅速な共有が可能。

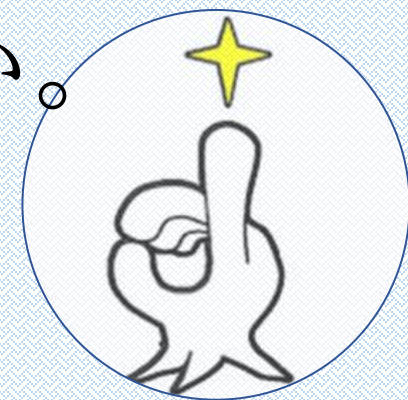
→しかし未だに充実した情報保障の下で授業を受けられていないきこえない学生が多くいる。



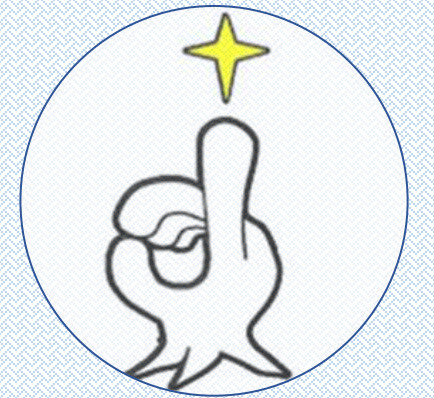
ネットワークの周知徹底及び拡充の具体的な取り組みを要望



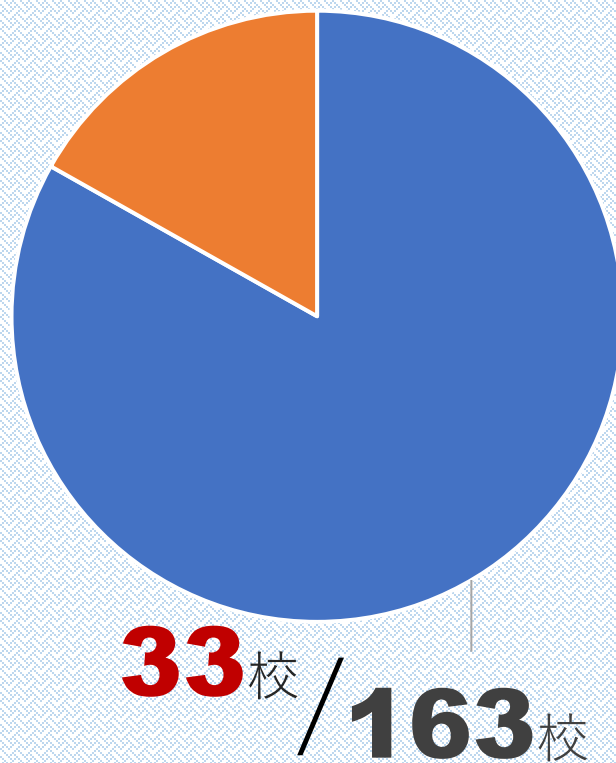
3. きこえない子どもの
コミュニケーション機会を確保し、
その言語及び認知の特性が分かる教員を
増やすためにも、聴覚障害者教育領域の
特別支援学校教諭免許状(一種)を
取得できる大学を増やしてください。



免許状取得の状況について



聴覚障害者教育領域の特別支援学校教諭免許状（一種） を取得できる大学の割合



出典：文部科学省 「令和2年度当別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状保有状況調査結果の概要」

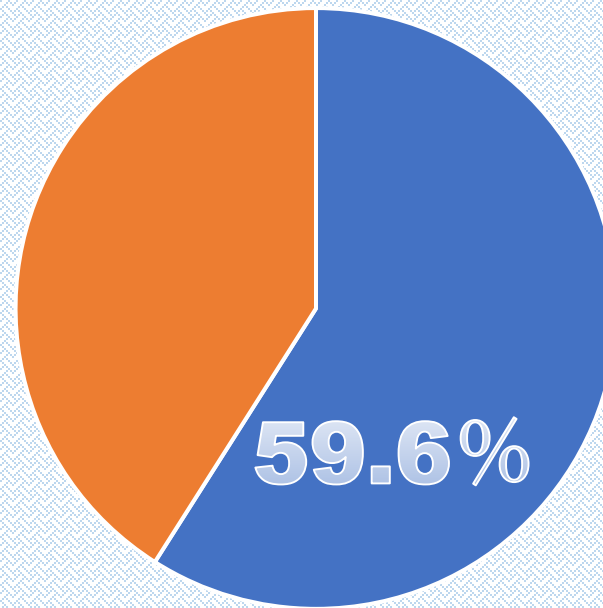
- ・聴覚障害者教育領域の免許を取得していない教員がろう学校に配属

→聴覚障害教育に関する知識が浅いため、きこえない子供たちにとって大切なコミュニケーション手段の1つである手話を十分に習得できないまま指導にあたっているという現状がある。



・聴覚障害教育の当該種別免許状の保有率

→ 文部科学省「令和2年度当別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状保有状況調査結果の概要」の調査結果…



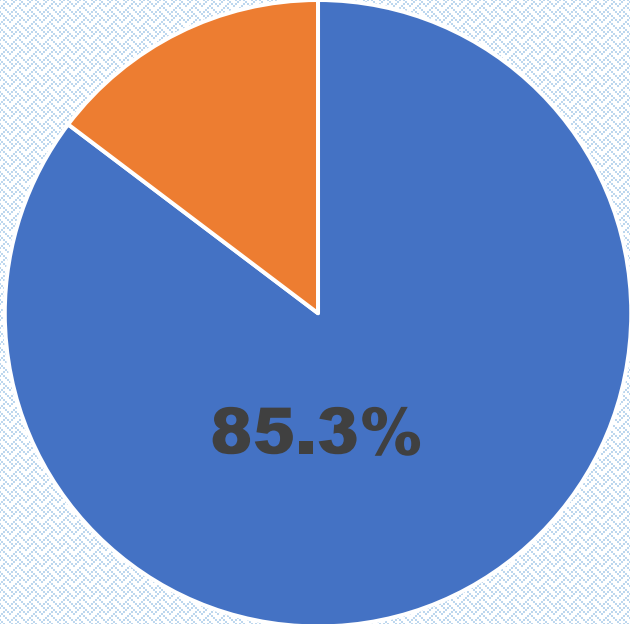
■ 保有あり ■ 保有なし



出典：文部科学省「令和2年度当別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状保有状況調査結果の概要」

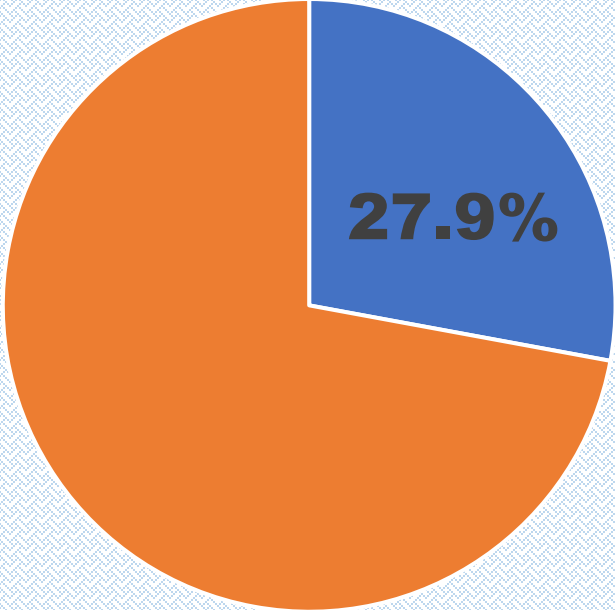
聴覚障害者教育領域の免許の保有者割合の地域差

福岡県：保有率



■ 保有あり ■ 保有なし

滋賀県：保有率



■ 保有あり ■ 保有なし



出典：文部科学省 「令和2年度当別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状保有状況調査結果の概要」

聴覚障害教育への知識と理解があり、きこえない子どもに対する教育の専門性を身につけた教員を増やし、高度かつ同一の水準を保った聴覚障害教育を達成するために
聴覚障害者教育領域を含めた特別支援学校教諭免許状(一種)の課程認定を有する大学の拡大が必要



